



第15回 稲門建築会特別功労賞 陳 光敏（苗院S52）

欣菱工程股份有限公司董事長
台灣稲門建築会 世話人

表彰理由：

台湾稲門建築会は海外の中では最も活発な会であり、世話人を長く続けている陳光敏氏の尽力の賜物である。陳氏は、大学院修了、新菱冷熱工業に入社後、1987年に台湾に戻り建築設備の設計・施工を主な業務とする欣菱工程股份有限公司を起業し、現在、その董事長(会長)である。同社は、台北101や高尾の仏陀記念館を始め、多数の現代建築設備の設計、施工に実績を上げている。陳氏は、早稲田大学台湾校友会の振興に尽力し、幹事長、副会長を経て2011年には会長に就任した。1993年当時休眠状態だった台湾稲門建築会を活性化するため、一方建築分野での日本留学経験者全体の懇親会・勉強会である留日建築聯誼會を立ち上げた。留学生・交換学生の世話、早稲田大学125周年記念活動等の稲門関係の活動だけでなく、東日本大震災の募金活動、慶應義塾大学の同窓会である台湾三田会との懇親行事等を発足させるなど、台湾における親日層の懇親や日台関係者の交流に貢献する幅広い活動を行い、多方面の人望を得ている。第10代の早稲田大学台湾校友会会長に選任されたのも、これらの実績と人望がもたらすところである。

(推薦者 長谷見雄二)

略歴

1977 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程
(井上宇市研究室) 修了
新菱冷熱工業株式会社入社、工事事業部、海外事業部営業本部長室室長
1987～ 新菱冷熱工業(株)台湾現地法人(欣菱工程股份有限公司)を創設
代表取締役社長(董事長)

1993～ 台湾稲門建築会創立 世話人
2000
～2011 早稲田大学台湾校友会 幹事長、副会長
2011～ 早稲田大学台湾校友会 会長



台北101 国際金融センタービル

施主：台北金融大樓(股)公司
CM Consultant：Turner Steiner International
建築設計事務所：李祖原建築師事務所
構造設計事務所：永峻工程顧問公司
設備設計事務所：大陸設備工程顧問公司
建築施工会社：熊谷組、華熊營造、榮民工程、大友為工程 JV
空調施工会社：欣菱工程公司(台湾新菱)
衛生電気施工会社：鼎順工程公司

工期：1999年6月～2004年12月
敷地面積：30,277㎡(9,175坪)
建築面積：15,081㎡(4,517坪)
延べ床面積：412,500㎡(125,000坪)
規模：地下5階、地上101階
建物高さ：508メートル

施工規模：
1) 鉄骨総重量：95,000トン
2) 鉄筋総重量：24,548トン
3) コンクリート：204,022㎡
4) 型枠面積：226,135㎡
5) カーテンウォール面積：116,000㎡
6) 掘削量：540000㎡

用 途：
1) 低層部 (Podium Area B5F～7F)
ショッピング モール (75,000㎡)
駐車場 (1,858台)
2) 高層部 (Tower Area B5F～101F)
オフィス (7F～84F)
レストラン (86F～88F)
展望台 (89F～91F)



佛光山寺仏陀記念館

施主：財団法人人間文教基金会
建築設計事務所：台北国際聯合建築師事務所
建築施工業者：大成工程公司
設備(空調、衛生、電気)施工業者：欣菱工程公司(台湾新菱)
場所：台湾高雄市
敷地面積：100ヘクタール余り
工期：2003年春～2011年12月25日

建築概要：
一期工事：1) 記念館本館：144,000㎡(B1F～3F)
冷凍機容量：1350冷凍トン
電気容量：5000KVA
発電機容量：900KW
2) 菩提広場(百メートル四方)、
3) 万人写真広場(50メートルx35メートル)
二期工事：1) 八正道塔、(7階建て、高さ37メートル)
2) 礼敬大ホール(B1F～3F)
冷凍機容量：ビルマルチ (VRV) 540冷凍トン
電気容量：2250KVA
発電機容量：750KW
3) 成佛大通り(567メートル)
三期工事：佛光大楼：(台座及び仏像の高さは108メートル)
台座の部分が60メートル(1F～12F)
冷凍機+ビルマルチ (VRV) の容量：515冷凍トン
電気容量：3750KVA
発電機容量：400KW
仏像重量：330トン(青銅製)
仏像高さ：50メートル

